

氏名	齋藤恵子	部署	看護学科	職名	准教授
研究分野	母性看護学、助産学、国際看護学				
学位	学士（看護学）、修士（保健医療学）、博士（健康科学）				
学歴	2003年国際医療福祉大学保健医療福祉学研究科博士前期課程修了、2006年国際医療福祉大学保健医療福祉学研究科博士後期課程単位取得満期退学、2020年埼玉県立大学大学院保健医療福祉学研究科博士後期課程修了				
経歴	2003年埼玉県立大学短期大学部専攻科助産学助手、2005年埼玉県立大学保健医療福祉学部講師、2018年埼玉県立大学保健医療福祉学部准教授				
所属学会（役職）	日本国際看護学会（理事）、日本母性衛生学会（査読委員）、日本国際保健医療学会、日本助産学会、日本看護科学学会、日本看護学教育学会、日本母性看護学会、日本思春期学会、日本性感染症学会、埼玉県立大学保健医療福祉学会、日本健康学会、日本保健福祉学会				

【2022年度実績】

1. 研究業績						
(1) 著作						
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数	著者、編者名	発行等年月
1	第111回看護師国家試験解答と解説（母性看護学）	共著	あり	医学書院、東京 ISBN978-4-260-04809-5	母性看護学（石井邦子、増田恵美、山崎麻子、大月恵理子、森田亜希子、浅井宏美、齋藤恵子）	2022.4
(2) 論文						
	論文の名称	単・共	査読	IF対象誌	雑誌名、巻（号）、開始-終了ページ	著者、編者名
1	該当なし					
(3) 学会発表						
	学会発表の演題	単・共		学会名、開催都市	発表者（発表者は○印）	発表等年月
1	母性看護学未履修の看護女子大学生の乳児用液体ミルクに対する意識調査	共同		第24回日本母性看護学会学術集会（オンライン開催）	○瀧澤美季、齋藤恵子	2022.6
(4) その他						
	名称	単・共		発表場所等	発表者（発表者は○印）	発表等年月
1	該当なし					
2. 競争的資金等の研究						
	競争的資金等の名称			研究名	研究代表者・研究分担者の別	研究期間
1	科学研究費助成事業 若手研究			埼玉県在住の移民女性の出産に関する伝統的プラクティスの認識と実践	研究代表者	2020-2023
3. 教育業績						
(1) 講義						
	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）		
1	リプロダクティブヘルスと看護		1コマ	文化や慣習と妊娠出産と助産ケアについて、看護の視点で検討できるよう、国際看護、異文化看護の主要概念および具体例を提示し、理解が深められるよう工夫した。		
2	グローバルヘルスと看護	○	6コマ	2022年度より4年次看護学科必修科目としてスタートした科目である。グローバルヘルスの現状と課題、多文化共生社会における看護の看護役割と国際活動の実際について理解できることを学習目標として、科目運営を行った。国際支援の必要な幅広い領域の専門家に非常勤講師、ゲストスピーカーとして招聘し、「やさしい日本語」の授業・演習を導入し、多文化共生時代における「内なる国際に」も対応する授業内容とした。		
3	母性看護学Ⅰ		1コマ	周産期の看護と文化について事例を用いながら理解しやすう講義した。webclassを活用し、学生の授業参加を取り入れた。		
4	母性看護学Ⅱ	○	5コマ	運動と栄養について、産褥期の健康課題について、授業では画像・動画・事例を用いて学生が対象をイメージしやすいように工夫した。また、、、生殖医療と看護ではロールプレーを取り入れた不妊カウンセリングを授業内に取り入れ、学生が体験を通して学ぶ機会を作る等の工夫を行った。		

5	周産期のケア		1コマ	3年次助産系履修学生を対象に、助産師の法的責務と業務範囲について講義を行った。助産師の業務の根拠となる法についてが理解できるよう具体例を示しながら説明した。
6	分娩期のケア		2コマ	3年次助産系履修学生を対象に、産婦の心理と社会的特徴、家族の心理とケアについて、分娩施設の選択、出産方法の選択、望ましい出産体験のためのケアについて講義を行った。
7	助産業務管理		1コマ	国家試験出題基準、助産師国家試験対策授業を3名の教員と担当した。

(2) 演習

	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	周産期のケア		6コマ	3年次助産系履修学生を対象に、オンラインによる助産師外来演習（妊娠期の健康診査技術及び保健相談）グループ演習を担当、媒体活用等の工夫して行った。

(3) 実習

	実習の名称	科目責任者	学外実習：期間 学内実習：コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	母性看護学実習		学外実習： 2022.5～2022.6	実習1は褥婦および新生児とその家族を理解し、ケア計画立案、実践・評価について助言・支援を行った。
2	総合実習		学外実習（学内・オンライン）：2022.7	4年次4名の学生を担当し、学生が自身の実習課題を明確化できるように支援を行った。新型コロナウイルス感染拡大の影響による臨地実習中止による学内実習では実際の妊婦、褥婦に協力を依頼し、妊娠期、産褥期のアセスメント・看護・助産計画立案ができるよう支援した。
3	IPW実習		学外実習（オンライン）： 2022.10	4年次の他大学1名を含む5名の学生を担当し、学生が自身の実習課題を明確化できるようにオンラインにて支援を行った。
4	助産学実習Ⅱ		学外実習： 2022.8～2022.9 学内実習：4コマ×12日間	4年次2名の学生を担当した。学内代替実習ではシュミレーターを用いた実習の企画・実施の工夫、臨地実習ではコロナ禍で可能な範囲学生の実習進捗度に合わせて実習指導者と連携協力して分娩介助実習指導を行った。

(4) 論文指導

	対象	期間	主指導・副指導の別及び指導人数	
1	卒業論文	2022.4-2023.1	主指導 4名	副指導 名
2	修士論文	2022.4-2023.2	主指導（指導教員） 名	副指導（指導補助教員） 2名

(5) その他

	名称	期間	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	卒業研究ゼミ交流会	2022.12	卒業研究複合ゼミ・交流会（4年生6名）、卒業研究会発表演習を実施。

4. 社会貢献活動

(1) 講演会、研修会、公開講座等の講師

	講演会、研修会、公開講座等の名称	主催	講演、研修、公開講座等のテーマ	開催年月
1	「国際看護学」講義担当	大東文化大学 スポーツ・健康科学部 看護学科	多文化共生と国際看護（1コマ） 国際看護活動の実際（1コマ）	2022.5
2	大学院助産学分野「助産学特論Ⅹ（国際母子保健活動論）」講義担当	国際医療福祉大学大学院助産学分野	諸外国の母子保健の現状を踏まえた助産師活動（2コマ）	2022.6
3	埼玉県看護協会看護の出前講座	狭山経済高校	性教育講演（オンライン）	2022.7
4	埼玉県立大学出張講座	埼玉県立松伏高校	性教育講演	2022.7
5	久喜高校先輩の在り方生き方講演会	埼玉県立久喜高校	可能性を信じて、自分らしく、チャレンジ！～青年海外協力隊との出会いが転機となり助産師とし再出発～	2022.10

6	埼玉県立大学出張講座	埼玉県立幸手桜高校	性教育講演	2022.11
7	埼玉県立大学出張講座	埼玉県立坂戸ろう学園高等部	性教育講演	2022.11
8	埼玉県立大学出張講座	埼玉県白岡高校	性教育講演	2022.12
9	埼玉県看護協会看護の出前講座	埼玉県立鴻巣高校	性教育講演	2023.3
(2) 国、自治体、学術団体等における委員等				
	国、自治体、学術団体等の名称		委員等の名称	任期
1	独立行政法人国際協力機構 (JICA)		技術専門員 (助産師)	2019.9~現在
2	一般社団法人埼玉県助産師会		理事 (財務)	2020.9~現在
3	日本国際看護学会		理事	2020.11~現在
4	一般社団法人日本国際看護学会第7回学術集会		第7回学術集会会長	2022.9~2024.3
(3) ジャーナリズムでの発言				
	メディア等の名称		内容	年月
1	一般社団法人日本国際看護学会ニュースレター	一般社団法人日本国際看護学会第7回学術集会開催にあたって		2023.3
(4) その他				
	項目	相手方等	内容	期間
1	地域貢献活動	卒業生・在学生対象	埼玉県立大学ホームカミングデー助産師交流会 多文化共生！今・これから 私たち助産師にできることをテーマとして企画・実施、「外国にルーツのある妊産褥婦ケアについて」研究成果、教育実践について話題提供した。	2022.10.30
2	地域貢献活動	卒業生、看護職	オープンカレッジ「産科スタッフのためのやさしい日本語研修」企画・実施。「文化・宗教に配慮した関わりと医療現場で活用する「やさしい日本語」について研究成果、教育実践について講演した。	2023.2.23
3	地域貢献活動	草加市立病院	看護研究指導	2021.4~2022.12
5. 学内運営				
	項目	内容		期間
1	国際交流活動	JICA東京・埼玉県立大学国際交流委員会企画「セカイ×ミライ」パネルディスカッション司会		2023.1
2	全学的委員会及びセンター業務等	学生支援委員会		2022.4~現在
3	学科等における委員会等	国家試験対策プロジェクト、就職支援プロジェクト		2022.4~現在
4	学科等における委員会等	卒業生ホームカミングデー助産師交流会企画		2022.4~2022.10
5	学長指定プロジェクトへの関与	プロジェクト 2023-4 実施準備 多文化共生社会における外国にルーツを持つ子育て世代への包括支援推進のための実践研究 一健やかな妊娠・出産・子育て期を目指した文化に配慮した「やさしい日本語」研修プログラム開発一		2022.6~ 2023.3.31
6	学生支援	学内トイレへの生理用ナプキン配備支援		2023.1~現在
6. 受賞 (研究、教育、社会貢献活動に関するもの)				
	受賞名	主催		受賞年月
1	該当なし			
7. 特許の取得				
	特許名	特許番号		登録年月
1	該当なし			
8. 特記事項				
1	該当なし			